



学校だより



NO.10
東京女学館小学校
令和6年12月20日

すずかけ 華道

11月8日～12月2日

児童のすずかけノートの感想をご紹介します



すずかけ担当教諭

今年度も、すずかけ「華道」の授業を草月流のE先生とK先生のご指導の下、実施いたしました。1年生はペットボトルで作った花器に、2年生は図工の時間に制作した焼き物の花器に、3～6年生は剣山と水盤を利用して、それぞれ3種類の花材をいけました。今年度は黒い花器に加え白い花器を取り入れて、3年生以上の児童は2種類の水盤でいけることに挑戦しました。全学年共通で見られる「お花と向き合い、お花と対話しながらいける姿」は低学年から高学年までのつながりを感じることができ、その姿は本当に素敵です。

最終日は、6年生が小学校生活最後の作品を展示し、校内が一気に華やぎました。作品に添えられた「夢へ向かって」「気持ちの形」「冒険」「感謝」などの題名からは、それぞれの6年間の思いを感じることができました。中学校へ進学しても、すずかけ「華道」で学んだことを忘れずに心豊かな日々を過ごしてほしいと願います。花材を持ち帰り、ご家庭で再びいけて楽しむことも、すずかけの時間で育まれてきた心のゆたかさであると感じます。

今回もたくさんの保護者ボランティアの方々にお手伝いいただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ご協力いただきありがとうございました。



5A 児童

5B 児童
今日の華道で難しかったのはデザインを決めることです。なぜなら、初めての自由花だったからです。先生がいけた3つのお花を見本にし、自分にしか作れないものをいけたのでとても難しい部分もあり大変でした。剣山の2個使いや、大きい葉の工夫をして、自由花をいけることができてよかったと思います。

ハランは自分の好きなようにさくこともできるし、曲げることや折ることもできて工夫ができるので楽しかったです。今回私が決めたお花のお題は「最高の笑顔」です。一ヶ所から笑いが飛び出るような感じにしました。

6B 児童

昔、私は華道といえば難しいというイメージを持っていました。でも、今は日本文化のすばらしさ、お花で表現することの楽しさがわかってきました。これからも、この気持ちを忘れずに、相手や場所を考えられる人になりたいと思います。『華道は相手・場所のことを考えて、心を美しく、丁寧にいけることが大切』大人になっても、相手のことや立場・場所のことを考えられる人になりたいと思います。

6B 児童



1年生 初めての華道



3年生 初めての剣山



4年生 完成した作品の講評



6年生 三つ編みに挑戦



6年生 校内展示

もちつき大会 12月13日(金)

総括部長

当日は曇り空の寒い日でしたが、高田川部屋の力士の方々がご来校され、全校児童のお餅を力強くついでくださいました。「よいしょ、よいしょ。」力士の方が杵を下ろすのに合わせて、みんなでありったけの声を出して応援しました。ボールに入って湯気を出している、つきたてのお餅を目の前で見せてもらった1年生は、その香りとつやつやした白さに大喜びでした。海苔やあんこ等、お好みの味付けでたくさんいただくと「今まで食べたお餅の中で1番おいしい!」と大満足でした。高田川部屋の力士の皆様、ありがとうございました。

3A 児童
わたしは、年に一度のおもちつき大会が大すきです。わざわざおすもうさんが、学校まで来てくれるからです。楽しいことは、もう一つ。それは、つきたてのおもちを食べること! みんなそれぞれにいろいろな食材を持って来ていました。わたしは、きなこおしよゆの二つを持って来て食べました。とっても美味しかったです。年に一度のこの時間は、とってもさいごうに楽しい時間です。

3B 児童
おすもうさんたちは、とてもがんばっておもちをついてくださいました。わたしたちが大声でおうえんをすると、おすもうさんたちが笑顔になって、もっとがんばってくれました。教室にもどっておもちを食べました。おもちも、もちもちしていてとてもおいしかったです。あんこやきなこーしよに食べるとさらにおいしく、あまく感じました。

「貴重な思い出」

6A 児童
今年のおもちつき大会は、6年生が実際におもちつきを体験することになっていたのも、わたしはとてワクワクしていました。
12月13日、おもちつき大会の日がきました。おすもうさんはリズムよくついていて簡単そうに見えましたが、初めて持ったきねはとても重く上に、狙いを定めることも、うでを元よく動かすこともうまくできなくて、思っていた何倍も難しかったです。それを軽々とやりとげてしまうおすもうさんは、素晴らしいなと改めて思いました。毎年寒中、私たちのためにおもちつきをしてくださって、感謝の気持ちでいっぱいになりました。
今年でおもちつき大会に参加するのも最後となりさみしいですが、日本の伝統行事を体験することができ、貴重な思い出となりました。みんなですきたつきたてのおもちも、ほかほかでおいしかったです。



2年生 道徳科 「犬とのふれあい」 シモゾノ学園国際動物専門学校 12月10日(火)

2年生担任

12月10日(火) お天気にも恵まれ、シモゾノ学園国際動物専門学校のご協力のもと、校庭で子どもたちが9頭の犬とふれ合うことができました。このような活動や体験を通して、動物に優しく接しようとする心情を育て、共に生きていることのいとおしさを感じ、動物を大事にする気持ちを育ててほしいと願っています。



2A 児童
わたしが犬のなかで一番すきな子はコージくんとおレオくんです。さいしょに犬の運動会を見たとき、ベニーちゃんがリードをつけないで走っていったのがすごいいいと思いました。また犬の肉きゅうはピンクしかないと思っていたので、はじめて黒色の肉球を見てびっくりしました。

2A 児童
「カブ」とふれあってごはんもあげました。足をなめられて気持ちよかったです、かわいかったです。犬もうれしそうにしていたわたしも元気がになりました。

2B 児童
まだ、1さいにもなっていない赤ちゃんの犬がいるのに、犬たちはいろいろなものをがんばって見せてくれて、とてもかんどうしました。

小さいのにあんなことができるなんて思いませんでした。ありがとうございました。



2B 児童
トレーナーの人と犬が話合っているような気がしてすごかったです。犬となかよくなるためには、いっしょにうんどうをしてなかよくなるということをはじめて知りました。



**1年生 生活科校外学習
落ち葉ひろい 12月10日(火)**

1年生担任

落ち葉拾い当日は冬の日差しの温もりを感じられる日となりました。
代々木公園に着いて、まずはもみじや桜の木がある場所で落ち葉を拾ったり落ち葉を使って遊んだりしました。「先生、こんなきれいな色の落ち葉を見つけたよ。」と嬉しそうに報告してくれる子もいました。次にイチョウ並木がある場所へ行き、一面に広がる黄色い世界を眺めながら、子どもたちは太いイチョウの幹を抱えて、生きている木の温かさを肌で感じていました。翌日には拾ってきた落ち葉を使ってドレスを作りました。子どもたちは同じ色の落ち葉を工夫して並べたり、模様を作ったりと、思い思いの素敵なドレスを作っていました。落ち葉を通して、四季による自然の変化に気付き、自然からのプレゼントに喜びを抱く一年生の豊かな心が感じられる行事となりました。



1A 児童
いちようのあるところは、とおくから見ると、きいろいじゅうたんがしいてあるみたいできれいでした。木をだっこしたら、あささわつたてつぼうやのぼりぼうよりもあたたかかったです。

1A 児童
はっぱのシャワーは、おちばを下からすくい上げて、上にはあつとまくことです。本もののシャワーをあびているみたいで、気持ちよかったです。パーという音がきれいでした。おちばがおちるかんかくがすてきでした。おともだちにおちばをかけてもらって、気持ちよかったです。



1B 児童
おちばをふんでみたら、ばきばきと音がきこえました。いちようがいっぱいあって、いちようの木をさわつたらあたたかかったです。またみんなでよよ木こうえんにいきたいです。

1B 児童
もみじのところでは、おともだちといっしょにおちばとえだをつかってやきとりやさんをしました。いちようのところでは、おともだちといちようのかんさつをしました。



6年生 家庭科 調理実習 12月3日(火)

家庭科教諭

6年生にとって3回目の調理実習では、季節を考えて、「簡単お雑煮」、「ベーコンと根菜のきんぴら」の二品を作り、給食の時間に食べました。最初の授業では、レシピを読み込んで、実習計画表を書き、和食に不可欠な『出汁』の香りを確認しました。昆布と鰹節で出汁をひく間に、人参や大根などの野菜を切ることは、既に実習計画の段階で学んでいるので、実習での動きがスムーズでした。さらに隣では、きんぴらの材料のごぼ



うの皮をこそげ取り、ささがきにチャレンジする児童もいました。お雑煮もきんぴらも、味付けをする前に、『ちょうどよく』火を通すことも大切な学びです。材料が固かったり、焦がしたりしないように気を付けました。



小学校生活最後の冬休みには、ご家族にふるまって欲しいと思います。

6年生 高3芸術選択生徒によるワークショップ 12月3日(火)

担当教諭

高3の芸術選択の生徒たちが小学生6年生に向け、『変わりゆくもの』をテーマに2つのワークショップを行ってくれました。
①ライト・ドローイング「光の物語」- 暗闇でライトを動かして一眼レフカメラで撮影し、それを(後日)繋げて動画にする。
②パズルペインティング「未来の渋谷」- 女学館生に身近な渋谷の写真を分割し、各自で彩色、最後に合わせて1枚の絵にする。
子どもたちは、事前にどちらに参加したいかを決め、はお姉さま方に教えてもらいながら、楽しく活動していました。同じ敷地に小中高があるからこそできること、そして、小学生にとって憧れの存在のお姉様と一緒に活動できること、東京女学館の素敵な一面がみえる時間となりました。



音楽朝会 12月10日(火)

音楽科教諭

「まきびと羊を」と「White night」の2曲を歌いました。「まきびと羊を」は、昔からある伝統的なイギリスの讃美歌です。この季節になるとテレビや街でメロディーを耳にする機会があるかもしれません。これからも世代や国を超えてみなで一緒に口ずさめる曲として覚えてほしいです。2曲目の「White night」には、「鐘の歌響け、海の向こうまで、いつの日か世界中が声合わせるまで」という歌詞があります。子どもたちも気持ちを一つにして、願いをこめて歌いました。

サッカークラブ 私学体育大会 11月23日(土)

場所：成城学園初等学校グラウンド 天気：快晴
「試合！！」

6B 児童

この日は1年ぶりのサッカーの試合でした。4年生、5年生、6年生が全員そろって試合をするのは初めてでした。お団子サッカーになっていて、1試合も勝てませんでした。けれど負けても落ちこまずに笑顔で試合にとりくむみんなと、試合ができてとてもうれしかったです。そして、いままで大きなコートで試合をやったことがなかった4年生が、たくさん活躍していて感動しました。

次の試合では周りをよく見て、パスやドリブルができるようにがんばります。3年間サッカークラブを楽しんできたので、残り少ない試合で絶対に勝ちたいと思います。そのためにこれからも練習をがんばります。

音楽クラブ 東初協音楽祭 11月17日(日)

音楽クラブ担当教諭

第38回 東初協音楽祭「さあ はじめよう」が11月17日に成城学園澤柳記念講堂で開催され、音楽クラブが出演しました。東京都の私立小学校のための音楽祭で、音楽を通して様々な学校が交流するという目的で長年続いてきました。今年は、13校が参加し、東京女学館小学校は、C.オルフ作曲の「さあ、おどろう」/コトリング作詞・作曲の「こどものせかい」の2曲を演奏しました。

「さあ、おどろう」は、リコーダー・木琴・鉄琴・大太鼓の編成です。リコーダーが3声に分かれ、大太鼓のリズムにのり木琴、鉄琴が曲全体を盛り上げます。迫力満点の演奏でした。「こどものせかい」は、1000年前の平安時代に思いを馳せ、歌と打楽器、ハンドベルで神秘的で美しい世界を表現しました。最後の音が静かに消えたあとに、大きな拍手で現実の世界に戻ってきたような気がしました。この日のために一生懸命練習してきたことが実り、他の学校の演奏からも大きな力をいただき、子どもたちにとって素晴らしい経験になりました。ありがとうございました。

冬休みの生活について

次のことを心がけて、充実した冬休みを送りましょう。

1. 規則正しい生活をする。(早寝・早起き、朝ごはん、運動)
2. 交通ルールを守る。
3. 危険な遊びをしない。
(SNSやインターネットの正しい使い方をおうちの方と話し合う)
4. 無駄遣いをしない。
5. 不審者や不審な電話、訪問者に気をつける。
6. 学校のタブレットを学習以外に使用しない。
★家の約束を決めて、楽しく安全に過ごしましょう。

覚えていますか？
冬休みの「はひふへほ」
は＝早寝早起き
ひ＝火遊びしない
ふ＝不審者注意
へ＝勉強します
ほ＝ほこりをはらう



- 3学期始まりの予定
- 8日(水) 3学期始業式・3時間授業・軽食
スキー教室児童説明会②
 - 9日(木) 4時間授業・給食開始・各委員会(1月分)
 - 10日(金) 体操朝会・クラブ活動開始

